

神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第073号(通算)

令和4年10月14日(金)発行

十月になったかと思えば、もう中旬です。秋が日に日に深まりワクワクしています。本日で中間考査も終了しました。皆さんには、どの様な秋が訪れていますか。身の回りにある小さい秋を発見できていますか?。全校朝礼で話した「色気」では、発散させる【気】と共に、様々なことを感じ取れる【感】も大切だと伝えました。私は、辺高生が感動を素直に感じ取れるようになって欲しいと願っています。来週は、本校伝統の33km遠行(明治33年の開校を記念した行事)です。コース沿いにひっそりと潜んでいる「ちいさな秋」を発見してみましょう。

合格祈願

令和4年9月28日(水)大安

共通テストの出願に際し、大安吉日のこの日に3年生の合格祈願を行い飯倉神社を参拝してきました。

みんなの夢が叶いますように。



※飯倉神社は旧川辺町の総社として信仰され、1247年には、現在の地に遷座(せんざ)されていたと伝えられています。初代神武天皇の母である玉依(たまより)姫や天智(てんじ)天皇などが祀られています。また、境内には県の天然記念物である「川辺の大クス」があります。

小論文指導研修会

令和4年9月16日(金)



この日、生徒の皆さんも小論文講習会を受講したと思いますが、放課後先生方も小論文の指導法についての研修会を受講しました。川辺高校の先生方は、このような研修や様々な資料を集め研究することで、生徒一人ひとりに合った小論文の指導方法を研究・実践しています。

【学校行事の写真販売中】

生徒会室近くの生徒用下足箱から図書館に向かう渡り廊下に今年度の学校行事の写真を掲示しています。事務室前にある封筒を使って、欲しい写真を注文することができます。



学年朝礼での講話

令和4年10月3日(月)

【3年生】

徳田先生



徳田先生は、受験に向けての準備と心構えについて

①「みなさんのことを一番よくわかっているのは担任です。先生たちや学校を大いに頼ってください。」

②「受験はスケジュールを立てることが大切です。ぎりぎりになって慌てることがないように、早いうちから準備を進めておきましょう。試験の2ヶ月前からのスタートが目安です。」

と一人ひとりに語りかけるように話されました。

もうすでに大学入試等は始まっています。これからは、自分自身で考え解決する能力が不可欠です。自分の夢を叶えるには、誰かにやらされているようでは実現しません。自分のことは自分で責任を持ってやりぬくことが大切だと校長は思っています。つまり、支援をちゃんと依頼する勇気が必要ということです。

【2年生】

上村娃凜・松山樹理・村永麻衣・小山桃香さんの4名による発表



10月末のハロウィンとはどんな行事なのか？

について調べた事でした。まずは、ハロウインの起源(ヨーロッパ、古代ケルト人)や日本での普及。その風習など多岐にわたる内容でした。この時期になると「ジャック・オー・ランタン」と言われるカボチャで作られたランタンが登場します。元々このランタンはカブで作られていたらしいのですが、アメリカに伝わったとき、カブよりカボチャの方が入手しやすかったり、カボチャの方が加工しやすかったことなどで、変わったという説があります。また、この時期に食べられるお菓子についても調べてみました。このように色々なことを調べると知識(ものの見え方)が広がって楽しいですね。

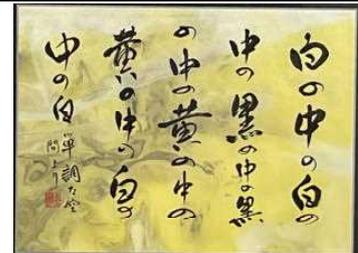
【1年生】

中須先生



2011年3月11日(金)東日本大震災発生しました。このときは全国で大きな混乱が生じました。また、震災後の復興支援にボランティアとして参加した経験を通じて感じたことを話されました。私たちの日常はいつどうなるか分からない。日常を大切にしてほしい。何かが起こっても、また起き上がって生き抜く大人になってほしい。ノブレス・オブリージュ(高貴は義務を担う)ということばがある。皆さんは、高校生として色々なことが免除されているが、その分「義務(=勉強する)」がある。「自律」「端正」「積極」「公德」を学ぶ川辺高校である。

作 品 紹 介



黎明館で開催されていた「大東書道展」では、書道の堂蘭まゆみ先生の作品が展示されていました。素晴らしい作品ですね。